

甲斐市立双葉西小学校 学校関係者評価書

令和8年2月20日(金)

甲斐市立双葉西小学校 学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：令和8年2月9日(月)

会場：甲斐市立双葉西小学校 多目的室

参加者：(学校関係者評価委員)

小田切千尋・石原 茂雄・花田 弘樹・箭本 昌人・山田 幸雄
阿部 智子・堀内 雅美・日永 龍彦・中野 洋晶・小野 幸恵
(学校側)

小宮山 昇(校長)・武田 真弓(教頭)・雨宮 和美(教務主任)

山本真由美(CSコーディネーター)・清水 麻里(事務)

I 学校側から提案された内容

「令和7年度 双葉西小学校自己評価書」について

- 1 達成状況について
- 2 今後の取組について
- 3 まとめ

II 協議された主な内容

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 学校教育目標・学校経営について | 5 地域との連携について |
| 2 学校運営について | 6 学校の特色について |
| 3 学習指導について | 7 成果と課題について |
| 4 生徒指導について | |

〈学校関係者評価書〉

1 全体評価

- 教師・子ども・保護者ともに高い評価が出ていてよい。
- 児童が「学校生活を楽しいと思っている」という結果が、今回の評価を物語っていると感じる。よい結果を今後も維持できればよい。

2 観点ごとの評価結果

I 学校教育目標・学校経営について

- 目指す方向は、単純明快なものがいい。
- 学校だよりをとおして、目標に関わる取組がわかった。意識を持続させる効果があったと感じる。
- グランドデザインの中に目標とそのための手立てを明記し、それをもとに学校評価を行うのがよい。年度当初に評価の観点を明確にしておくとうまくいく。

II 学校運営について

- 教職員評価がよい結果であったことがよかった。標準時数に近づくように改編しているところがよい。それにより、教員の働き方や児童の生活にゆとりできる。
- 教員の多忙化解消を踏まえ、CS活動の在り方を議論していきたい。
- 災害はいつやってくるか分からない。クマ出没等の新しいマニュアルが整備されていることに安心した。

III 学習指導について

- 7月には授業に向き合えていなかった子が12月にはしっかり学習していた。指導の賜である。
- 国語・算数という基本となる教科で、多くの児童が「勉強がわかる」と回答しているところがよい。算数は受験だけでなく長期的に影響を及ぼす教科であるので、すべての児童が理解できることを目指してほしい。
- ICTを積極的に活用しているところがよい。児童が主体的に学習できるように、授業の工夫を重ねてほしい。

IV 生徒指導について

- 「学校に相談できる先生がいる」と多くの児童・保護者が回答しているところが素晴らしい。先生方だけでは対応できないことは、SCやSSWなどの専門家を積極的に活用してほしい。
- 学校応援団として授業の支援を行うと、児童が自ら片付けを行っている姿をよく見かける。感謝の気持ちを持っていることも分かるので、指導がゆきとどいていると感じる。
- あいさつを明るく行う児童が多く、よい子に育っていると感じるが、個人差も大きい。まずは、家庭がしっかりあいさつの指導を行うべきだ。

V 地域との連携について

- CSのこれまでの積み重ねが成果となって表れている。
- 保護者や地域の方にCSの活動を一層理解してもらうことが必要だ。TVや新聞などのメディアを利用してもっと発信できたらよいのではないか。
- 学校の取組を今後も分かりやすく学校だよりやHPで発信してもらいたい。

VI 学校の特色について

- CSとしての歴史が長くなった。他地域からも取組が素晴らしいと言われている。
- CSの取組が児童や教職員の役に立っていることが分かり、喜ばしい。
- CSとしての理念や機能・効果などをはっきり示し、地域の方々や保護者としっかり共有したほうがよい。
- これからの時代に必要な力をCSの活動を通して児童に身につけさせられるような取組をしていきたい。

その他

- 今後の本校の発展のためには、地域の方々の力が必要である。今年度で多くの委員が退任してしまうが、これまでの無償の情熱に感謝を伝えたい。
- 今年度は回答方法や回答率がこれまでと変わったので、今年度の評価を中心としていたが、単年度だけでなく経年での比較や推移を見ていくことも大切である。他校との比較もできればよい。

3 今後の課題として確認されたこと

- 本校関係者それぞれの満足度が高水準であるので、これを維持していく。
- これまでの実践を生かし、CSとして更なる地域の教育力を生かす授業・活動を行っていく。児童主体の学習にCSを生かす方法を検討していく。
- 満足でないと回答した数%の意見を大切に、改善を図るよう努める。
- 学校評価のアンケート項目について、学校運営協議会の中でも検討していく。

※特記事項

- 特になし

